

第55回 経営協議会 議事要録

日 時 平成28年 1 月 21日 (木) 13時30分～15時00分

場 所 事務局第二会議室

出席者 宮田亮平 学長、馬場 剛 理事、横里幸一 理事
保科豊巳 美術学部長、澤 和樹 音楽学部長
岡本美津子 大学院映像研究科長
石田義雄 委員、福井俊彦 委員、高階秀爾 委員、滝 久雄 委員

陪 席 監事：梅崎 壽 監事、金井 満 監事

渡邊健二 理事、北郷 悟 理事
越川倫明 副学長、松下 功 副学長
宮廻正明 社会連携センター長 [学長特命 (社会連携担当)]
三田村有純 グローバルレポートセンター長 [学長特命 (国際交流担当及び留学生担当)]
秋元雄史 大学美術館長

欠席者 中村胤夫 委員、遠山敦子 委員
桐山孝司 学長特別補佐 (キャンパス将来構想担当)
松下 計 附属図書館長

議題

1. 第3期中期計画目標についての意見 (原案) 及び中期計画案について
議長から標記のことについて提案があり、馬場理事から資料に基づき説明の後、審議の結果、原案どおり承認された。

報告及び連絡事項

1. 平成28年度国立大学法人運営費交付金の概要等について
馬場理事から、資料に基づき報告があった。
2. 国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について
馬場理事から、資料に基づき報告があった。
3. 平成28年度経営協議会開催日程について
馬場理事から、資料に基づき報告があった。
4. その他 (本学の取組について)
○ 馬場理事から、平成27年12月20日 (日) に明治大学駿河台キャンパスで開催された第3回 Go Global Japan Ezpoへの参加したとの報告があった

○ 澤音楽学部長から、早期教育プロジェクトについて、以下のとおり開催する旨報告があった。

平成28年1月31日(日) 仙台、3月12日(土)～13日(日) 宮崎、

平成28年3月28日(月)～29日(火) 札幌、平成28年4月9日(土) 伊那

○ 北郷理事から、上野「文化の杜」における文化プログラム構想について、共通パスポート作成、3月25日(金)～27日(日)の桜アートフェスタの開催、藝祭100年の歴史展を開始する旨報告があった。

○ 岡本映像研究科長から、メディア専攻年次成果発表会、映画専攻第十期生修了制作展、こどものためのシアター、アニメーション専攻第7期生修了制作展をそれぞれ開催する旨報告があった。

○ 保科美術学部長から、第64回卒業・修了作品展を開催する旨報告があった。

その他：(ご助言、ご提言等)

○ 日本は今、出生率が下がり少子高齢化となっている中で、入学定員減という概念の仕組みを考えておかなければならない。入学してくる人間の質をどのように維持していくか。これは教職員の励みでもあるし、入学してくる者の誇りでもある。前に受験生が一定程度あるからいいというような話を聞いているが、それも一つの考えかただと思うが、ここまでくると、なにか少し考えた方がいいのではないか。今季の目標の中に具体的にイメージするのは事務的には難しいと思うが、考え方をとして、そういう概念を入れるべきではないかと思う。

○ 中期計画の作成プロセスがどのようなものかお聞きしたい。

いろいろな組織の中期計画の作り方を観察している立場だが、本当に生きた中期計画を作っている組織は、作成過程において、いろいろなセクション、プロジェクトのリーダー、グループが何をやりたいか持ち寄って切磋琢磨し、ふるいにかける。そこにはトップのリーダーシップがあるわけですが、そういう大学のプロセスを経ていることがあります。

前期やり残したことを、今度はいかに再構築するか。それからニュープロジェクトがあり、一見してプログラムの内容がわかると非常にダイナミクスで次の実行プロセスにも繋がっていくと思う。また、計画について、途中の見直しも考えているか。

各部局からどういうことをやりたいのか意見をだしてもらい、本部で洗い出し改善して、もう一度、現場へ返して、それをまとめている。

毎年、業務実績報告書を提出しているものにチェックが入り評価いただいている。大学として、大きく変わったことがあれば、計画の変更申請を提出することはある。

1期から2期の作成プロセスで変わったことは、本部が軸となった大学全体で行う大きなプロジェクトを考える大学改革プラン推進会議が機能するようになり、そこで考えたことが現場に理解されるようになってきた。それで、各部局が積極的に行動していこうという意識が強くなった。